

## アクションプランの評価結果と今後の改善に向けて

平成15年度実施事業について、センター職員による自己評価を実施した結果、別添のとおりの評価結果となりました。

内容を詳細にみてもと、「A全体的な評価」については、45項目中3点以上が22項目、3点未満が23項目でした。

また、「B目標達成度に対する評価」については、42項目中3点以上が21項目、3点未満が21項目でした。

以上の結果から、平成15年度実施のセンター業務の評価は、概ね二分の一の項目については、ほぼ、目標あるいは計画通りの成果が認められると評価しましたが、2分の一については目標を一部未達成あるいは計画より遅れがみられると評価しました。

各項目毎の評価点は、アクションプラン評価指針で指定区分したものを、各職員が自己の業務或いは職責に応じて自己評価したものです。

なお評価点は、各職員から提出された項目毎の点数を単純平均し、小数点以下2位を四捨五入して算出しました。

3点未満となった項目については原因等を分析し、16年度以降は計画段階からの業務内容の検討と計画の確実な進行管理を行うとともに、実施方法の妥当性と業務の効率化を図り、アクションプランの確実な実行を通して目標を達成し、陶磁器産業と県内産業の発展に貢献します。

平成16年7月

窯業技術センター 所長 福村喜美子

1 評価対象および方法 平成15年度実施の事業を、アクションプランの項目に沿って評価する。  
数値目標については実績数値を示し評価する。

2 評価点数および指標

4 : 101点以上	目標あるいは計画以上の成果である
3 : 90点以上～100点	ほぼ、目標あるいは計画通りの成果である
2 : 70点以上～89点	目標を一部未達成あるいは計画より遅れがある
1 : 69点以下	目標を大きく下回るあるいは大幅に遅れている

3 評価項目

【A 全体的な評価】

県の施策方針や公設試験研究機関のビジョンとの整合性はとれているか

- 4 : よく整合している
- 3 : 概ね整合している
- 2 : 一部整合適応していない部分があり見直しが必要
- 1 : 整合していない部分が多く廃止又は全面見直し

成果指標の達成度

- 4 : 計画通り又はそれ以上の成果が上がった
- 3 : 概ね計画通りの成果が上がった
- 2 : やや遅れているか又は一部計画を下回った
- 1 : 遅れているか又は計画を下回った

県民のニーズに沿っているか（事業の必要性）

- 4 : ニーズは高く、事業実施は不可欠であった
- 3 : ニーズはあり、事業実施は必要であった
- 2 : 一部にニーズがあり事業実施必要であった
- 1 : ニーズがほとんど無く事業は不必要であった

事業の有効性はあるか

- 4 : 非常に有効であり事業は継続
- 3 : 概ね有効であり事業は継続
- 2 : 一部有効でない部分があり事業は見直しが必要
- 1 : ほとんど効果はなく事業は廃止又は全面見直し

事業が事業対象や事業を取り巻く社会、経済情勢の変化に適応しているか

- 4 : よく適応しており事業は継続
- 3 : 概ね適応しており事業は継続
- 2 : 一部適応していない部分があり事業は見直しが必要
- 1 : 適応しておらず事業は廃止又は全面見直し

事業実施方法の妥当性

- 4 : 適切であり、目標達成が顕著
- 3 : 概ね適切であり、目標は達成された
- 2 : 一部不適切な部分があり、見直しが必要
- 1 : 不適切であり、廃止又は全面見直し

費用や業務量に見合った効果が得られているか（効率性）

- 4 : 効率的で、計画通り又は計画以上の効果が現れている
- 3 : 概ね効率的で、見合った効果は出ている
- 2 : 一部非効率な部分があり、見直しが必要
- 1 : 非効率であり、廃止又は全面見直し

計画性、進行管理（目標達成のため、計画をたて業務の進行を確実に管理・実行したか）

- 4 : 計画通り又はそれ以上の成果が上がった
- 3 : 概ね計画通りの成果が上がった
- 2 : やや遅れているか又は一部計画を下回った
- 1 : 遅れているか又は計画を下回った

調整・折衝（目標達成のために必要な、関係者との調整・折衝を適切に行ったか）

- 4 : 積極的に調整・折衝したので、業務が大変スムーズに行えた
- 3 : 概ね調整、折衝を行った
- 2 : 一部調整、折衝を怠った
- 1 : 調整、折衝を全くしなかった

【B 目標達成度に対する評価】

- 4 : 計画通り又はそれ以上の成果が上がった
- 3 : 概ね計画通りの成果が上がった
- 2 : やや遅れているか又は一部計画を下回った
- 1 : 遅れているか又は計画を下回った

#### 4 評価実施要領

別添様式：アクションプラン評価採点表の項目に沿い、各自評価点を記入する。

評価の実施区分は下記の通りとする

「4 研究活動」の評価について、科長以上は、科員全体の評価を行い、専門研究員、一般の研究員および技師については、自己の研究活動等についての評価を行う

「1 使命 2 - 1 組織体制 2 - 2 管理運営について3 外部評価」、「5 技術支援(サービス)」、「6 研究成果の普及と広報活動」の評価については、それぞれが全体的な視点での評価を行う

アクションプラン評価採点表		評価の区分			
評価項目	頁	科長以上	専門研究員	左以外の研究員・技師	
				研究開発科	陶磁器科
1 使命 2 - 1 組織体制 2 - 2 管理運営について 3 外部評価	1				
4 研究活動 4 - 1 新事業新産業の創出	2				
4 研究活動 4 - 2 陶磁器業界の支援 4 - 3 陶磁器産業の新分野・異分野への進出	3				
5 技術支援(サービス) 5 - 1 技術相談 5 - 2 依頼試験 5 - 3 設備機器使用 5 - 4 人材育成事業 5 - 5 外部との交流	4				
6 研究成果の普及と広報活動	5				

#### 5 評価結果の集計

上記区分により実施した職員全員分の評価表を集計し、各項目毎に平均点(小数点以下第2位を四捨五入)を出す

上記の結果を、今年度アクションプランの評価結果とする

#### 6 評価結果の業務への反映

平均点が3点未満となったものについては、必要な改善を行うと共に、アクションプランについても、必要な見直しを行い、今後の業務実施の適正化と効率化を図る。

長崎県窯業技術センターアクションプランの評価結果  
(平成15年度事業実施分)

N O . 1

1 使命      2 - 1 組織体制      2 - 2 管理運営について      3 外部評価 (1) 研究成果を積極的に普及し、事業化を推進するため、特許化促進、事業化推進を強化 (2) 研究員の資質の向上と研究のポテンシャルアップ (3) 陶磁器地場産業に対し、成果を重視した効率的な支援			
A	全体的な評価	評価点	B      目標達成度に対する評価      評価点
	ビジョンとの整合性	3.6	年間特許の取得件数      3.1
	成果指標の達成度	2.9	論文発表・学会発表件数      3.1
	県民のニーズ (事業の必要性)	3.0	研究員の中長期研修派遣      3.5
	事業の有効性	2.8	客員研究員      2.6
	社会経済変化への適応	2.9	研究リーダー、グループ化      2.5
	実施方法の妥当性	2.9	技術シーズ・知見の伝承 データベース化      2.9
	効率性 (費用・業務量対効果)	2.8	相談窓口の明確化      3.0
	計画性、進行管理	2.8	企業との懇談会開催      3.3
	調整・折衝	2.9	企業の意識改革      3.3
			外部評価結果の反映      3.1

4 研究活動			
4 - 1 新事業新産業の創出			
( 1 ) 研究の目的 ( 2 ) 具体的目標と指針 ( 3 ) 研究内容			
( 4 ) 効果的な研究成果のための支援活動			
A 全体的な評価	評価点	B 目標達成度に対する評価	評価点
ビジョンとの整合性	3.4	新製品の開発状況	3.0
成果指標の達成度	2.8	実用化の状況	2.6
県民のニーズ ( 事業の必要性 )	3.2	重点分野の設定と成果	2.9
事業の有効性	3.0	産学官・他の公設試との連携 状況と成果	3.0
社会経済変化への適応	3.1	高い研究レベルの確保	2.8
実施方法の妥当性	2.9	提案公募事業への取組み	2.5
効率性 ( 費用・業務量対効果 )	2.8	戦略的分野への取組み	2.8
計画性、進行管理	2.8	開発部会活動と成果	2.9
調整・折衝	2.8	オープンラボの充実と成果	2.8

4 研究活動			
4 - 2 陶磁器業界の支援			
( 1 ) 研究の目的 ( 2 ) 具体的目標と指針 ( 3 ) 研究内容			
( 4 ) 効果的な研究成果のための支援活動			
4 - 3 陶磁器産業の新分野・異分野への進出			
A 全体的な評価	評価点	B 目標達成度に対する評価	評価点
ビジョンとの整合性	3.4	新製品の開発状況	2.9
成果指標の達成度	3.1	高付加価値製品開発状況	3.2
県民のニーズ ( 事業の必要性 )	3.1	共同研究・共同技術開発の 強化	3.4
事業の有効性	3.0	情報収集力強化	2.9
社会経済変化への適応	2.9	加飾技術の開発と成果	3.0
実施方法の妥当性	3.0	ものづくりのための基盤技術 の構築と成果	2.9
効率性 ( 費用・業務量対効果 )	2.8	成果品の出展状況	3.5
計画性、進行管理	2.8	開発部会活動と成果	2.8
調整・折衝	2.8	サンプル作成支援状況	3.1

5 技術支援（サービス）			
5 - 1 技術相談		5 - 2 依頼試験	5 - 3 設備機器使用
5 - 4 人材育成事業		5 - 5 外部との交流	
A 全体的な評価	評価点	B 目標達成度に対する評価	評価点
ビジョンとの整合性	3.5	技術相談内容の整理と分析	3.2
成果指標の達成度	3.3	研究テーマへの反映	3.0
県民のニーズ （事業の必要性）	3.5	他機関との連携強化	2.9
事業の有効性	3.4	D B の活用、情報の共有	2.7
社会経済変化への適応	3.3	民間活用状況・依頼試験	3.3
実施方法の妥当性	3.1	佐賀窯技センターとの連携	2.9
効率性 （費用・業務量対効果）	3.1	設備機器の休日夜間開放状	2.9
計画性、進行管理	3.1	技術講習会の実施	3.1
調整・折衝	3,1	研修会・企業ニーズ把握	2.9
		外部との交流	2.7

6 研究成果の普及と広報活動			
A 全体的な評価	評価点	B 目標達成度に対する評価	評価点
ビジョンとの整合性	3.3	開かれたセンター	3.4
成果指標の達成度	2.9	成果の権利保護の状況	3.1
県民のニーズ (事業の必要性)	3.1	広報は十分か	3.1
事業の有効性	2.9	ホームページの充実・更新	2.6
社会経済変化への適応	2.9		
実施方法の妥当性	2.9		
効率性 (費用・業務量対効果)	2.8		
計画性、進行管理	2.8		
調整・折衝	2.9		